

第7期第1回横浜市子ども・子育て会議 放課後部会 会議録	
日 時	令和7年3月17日（月） 18時30分～20時00分
開催場所	横浜市庁舎 18階 みなと6・7会議室
出席者	明石要一部会長、青山鉄兵副部会長、金井宏之委員、金藤ふゆ子委員、鈴木裕子委員、高杉陽子委員、辺見伸一委員、松本豊委員、三浦尚美委員、宮永千恵子委員
欠席者	保科優子委員
開催形態	公開（傍聴者2人）
議 題	(1) 横浜市放課後児童施策の質の向上に関する検討について (2) 令和6年度モデル事業の報告及び令和7年度放課後施策について
<p>(1) 横浜市放課後児童施策の質の向上に関する検討について</p> <p>（事務局）資料5に基づき説明</p> <p>（青山副部会長）3回にわたって現場のキッズの運営をされている皆さんと現場の状況を踏まえて、具体的な制度の在り方についていろんな声をいただいたということ、すごく有意義だったと思います。また、このアンケートについても、例えば両親とも就労しているけど、習い事などへのつなぎとして「わくわく」を使っているというようなケースであったりとか、それから、熱中症アラートで受け入れを制限されたことを知らずに行ってしまうケースがあったりとかというふうなことも含めて、これまであまり見えていなかった状況を確認できたということも重要だったと思っています。</p> <p>その上で、2点補足ですが、1つは、とにかく近年の夏が暑いということが1つあります。それから、もう1つは、以前に比べてかなり進んできているし、来年度の予算でも少しご配慮いただくことになったんですけれども、学校の体育館の空調の設置が、まだまだ整備途上にあるということです。体育館にエアコンがあるかないかによって、熱中症警戒アラートが出たときの活動の幅が、かなり違うということもあります。こういったようなことも含めて、学校の施設と連携をして、校長先生にも御理解をいただきながらやっていくということが、前提としてとても重要だということがあります。</p> <p>それから、キッズについても、やみくもに活動を制限しても、結局、キッズ以外の公園などで、かんかん照りの下でこどもが遊んでいたら意味がないということも現場の方から出てきていて、そのあたりのバランスを皆さん取りながら、現場ではいろんな試行錯誤をしていただいていることもよく分かりました。まだまだこれから検討すべきこともあります。今回の検討はとてもいい機会になったと思っています。</p> <p>（松本委員）認識不足で申し訳ないですけれども、わくわくの午前の2時間というのが、どういう時間設定、何時から何時という2時間が多いのか。ちょっとその辺、イメージが持てないものです。</p>	

から、教えていただければと思います。

(事務局) キッズクラブ自体は8時からやっているんですけれども、わくわくのお子さんは大体通常9時から11時、お昼前までということで設定しているクラブが多いのかなと思っております。

(金藤委員) 調査に基づき、こうした検討を進めていただいていること、大変すばらしいというふうに感じました。

そこで、1つ質問は、保護者の方と実施主体側は2時間にすることに対して肯定的な意見、かなり高いというのが多かったんですが、こどもに対しても調査をしているということで、そこについてはどのような結果が出たのでしょうか。もしお分かりでしたら教えてください。

(事務局) 今回、お子さんについては、午前2時間をどうするかという質問は、ちょっとさせていただいておりません。今日お手元に用意できなくて大変申し訳なかったんですけれども、どんな遊びをしたいかとか、キッズクラブでどんなふうに過ごしたいかということを中心に聞かせていただきました。なので、お子さんにとって2時間がどうだったかというところは、ちょっと今回は取れなかったのですが、今後また、そういったことも検討できればと思います。

(宮永委員) 障害の部分で先ほど青山委員からお話がありましたが、わくわく【区分1】登録でも、平日は放課後デイサービスなどへのつなぎとしてクラブを利用している方が多くなっていて、対応が課題だというお話がありました。私の所属する連絡協でも、やはりデイサービスに向かうまでの30分間程度の利用というのが話題に出ております。ただ、どうしてもそこでキッズクラブを使わなくてはいけないということもあり、ちょっといたしかたない状況なのかなというふうに感じております。

ただ、そういった障害や軽度の発達のあるお子さんにとっても、キッズクラブが大切な居場所となつてほしいという思いもある保護者が多かったり、あとは、お子さんたちのことを知ってくださるお友達ですとか、支援してくださるスタッフの方たちが地域の中で増えるということが、私たちのこどもにとってとても、これから生きていく上で必要なことだと思うので、そこはなるべく残していただきたいというか、対応に課題があるとはいっても、対応はちょっとしていったほしいなというふうに感じております。

(事務局) 今お話しいただきました放課後デイサービスまでの間の時間、短いところでは本当に10分ぐらいのところから、結構バスで順番に回るということで、中には1時間ぐらいかかるところもあったり、保護者の方が就労されていても、短い時間なので無料のわくわく分を使えばというご意見もある中で、今回こういった課題を改めて認識しまして、猛暑時の熱中症警戒アラート時の制限ですけれども、これだけ特に今回も20日、25日ぐらいアラートが出ていたということで、ほとんど毎日アラートが発表されているような状況もありましたので、やはりお子さんの居場所ということで、皆さんが猛暑の中でもキッズの中で過ごせる場所を確保していくことも含めて、改めてまた検討して、お子さんにとって過ごしやすい場所になるようにしていければと思っております。

(明石部会長) 個人的には 65%の方が夏休みにクラブを利用する予定がないというのも、ちょっと意外かな。この辺少し議論して、今後議論してもらえばいいかと思うんですけども、言いたいのは、横浜市が公立では初めて夏休みに対する施策をしているのに、もっと利用者が多いかなと思ったんですけども、65%の方は今のところはないとおっしゃっているので、この辺がちょっと興味深いかなという感じはしております。ですけれども、今後、こういう形でいいデータが出てきておりますので、来年度も2回ほど用意していますから、その辺を詰めていってくれるといいかと思えます。

(青山副部会長) これは 65%というのは、わくわく【区分1】に申し込んでいる人にとってなので、普段から全児童対策の部分だけに申し込んでいるお子さんについてはということで、もちろん、【区分2】以降の人たちにとっては、たくさん使われているということになろうかと思えます。

(事務局) わくわく【区分1】は、やっぱり夏休みの利用制限があるということで、いつアラートが出るか分からないという中で、皆さん予定が立てづらい。今回の課題にもありましたけれども、そういったこともあるのかなと思えます。ただ、せっかくの機会なので、皆さん多く使っていただけるようにということで、引き続き検討したいと思います。

(2) 令和6年度モデル事業の報告及び令和7年度放課後施策について

(事務局) 資料6から資料8に基づき説明

(三浦委員) 現場の声がよく見えるような調査とかアンケート結果で、本当に興味深く見せていただきました。ありがとうございました。

2つあるんですけども、1つはお弁当の件なんですけど、実際に私はお弁当を見る機会がありまして、青葉区なんですけども、こどものお弁当にしては随分地味なお弁当だったんです。すみません。特に低学年の子が多いので、これ何だろうというものだと、なかなか食べようとしないというか、コロッケとかハンバーグとかだとすごく分かりやすいんですけども、野菜と何かが炒めてあるよとか、そうになってしまうと、もう見た瞬間に手をつけないみたいなシーンをちょっと見まして、別な区の方とお話ししたときに、おいしそうなお弁当だったよとおっしゃっている方がいらっしゃって、区ごとに業者さんが違うじゃないですか。なので、ちょっとごめんなさい、青葉区の業者さんを悪く言うわけじゃないんですけども、業者さんのほうもそういうところをスキルアップというか、情報交換していただいて、多分、去年の夏にどれぐらい食べずに戻ってきたかというのも実際御覧になっているはずなので、そのあたり、もう少し改善していただけると、もっといいかなと思いました。

それから、もう1つなんですけども、朝の居場所づくりのほうですが、こちらもたまたま青葉区で実施されていまして、最初、私は、この美しが丘という場所が非常に、ちょっと特殊な場所なので、ここでこの事業のモデルをやるのかなと、ちょっと疑問を持っていたんですね。実際に利用

している方も少ないなと思っていたんですけども、今回のアンケートを見ましたら、これから使ってみたいよという人が結構たくさんいて、びっくりしました。なので、結局、知らなかったんだというのが本当にびっくりしたことで、今回これで知っていただけたことで利用もされるのかなと思いますし、周知というのはすごく大事なんだなというふうに思いました。

（事務局）昼食の件ですけども、委員おっしゃっていただいたとおり、今年、こども向けのメニューかという、渋めなメニューの日も実際あったというふうに聞いています。青葉区の事業者さんだけではなく、ほかの事業者さんも含めてなんですけれども、栄養バランスというところを重要視していただいて、お子さんが食べ慣れないようなメニューもあったのかなと思っています。来年度に向けては、事業者とも情報交換をさせていただきながら、お子さんが食べやすいもの、食べ慣れているものを中心に出してほしいというところで、こちらのほうではお願いをしているところですので、もう少し食べやすいものになればなと思っていますところでは。

続きまして、朝の居場所の関係ですけども、おっしゃっていただいたとおり、周知の部分は大事かなと思っています。来年度も使っていただけるように、今回は新1年生の保護者の方にも既に案内をさせていただいておりますので、利用が伸びればなと思っています。今年度は青葉区2校でしたけれども、来年度に向けては市内、もう少し広げて、プラス8区8校でやるような形になりますので、合計9区10校でやる形になります。

そういった中で、地域性とかも、もしかしたら出てくるかもしれないので、そういったところも検証しながら、今後の事業の継続に向けて考えていきたいなと思っています。

（金井委員）一市民で、本当にまさにキッズを使っている保護者の当事者なんですけれども、給食、お弁当はすごくありがたかったです。何作らなきゃいけないんだろうとか、そういう悩みが一つでも減るというのは、すごくありがたかったですし、さっきこどもに感想を聞いたら、おいしかったし、おなかいっぱいだなんていうふうに言っていたので、よかったかなと思って。

先ほどの質問にも関連すると思うんですけども、昼食、事業者ごとの違いというものもあるのかなというのが気になって、アンケートを取る中で区によってとか事業所によって差があるのであれば、そこは改善点になるのかなというのが思ったところでは。予算が増えて春休み、冬休みも増えるということは、本当に非常に保護者としてありがたいと思っています。ありがとうございます。

それと、もう1点が朝のモデル事業のほうで、どういうところで誰が運営しているのかというのがちょっと気になって、先ほどシルバー人材センターという名前なんかも出ていましたけれども、多分こどもたちが慣れている場所で慣れている人とかのほうが、受入れはいいのかなんて思ったりしたので、どういう実施体制なのかを伺えればと思います。

（事務局）朝の居場所の関係は、今、シルバー人材センターのほうに実施をお願いしているところでは。確かにシルバー人材センターの方なので、お子さんはふだなじみがない方もいらっしゃる

んですけれども、実際、元教員の方であつたりとか保育の関係をやっていた、お子さんの関係をやっていた方を優先的に配置いただいたりとか、あと、地域でボランティアをふだんやっていたりしている方、学援隊とかでやっていたりしている方とかも、シルバーのほうでやっていたりしています。ただ、全員ではないので、お子様との触れ合い方というのは、シルバーの会員さんによって異なってくるところはあるので、事前にお子様との関わり方はこういうふうにしてくださいという研修は実施させていただいたりとか、安全管理の部分の研修も実施させていただいています。

何とかお子さんであつたり保護者の方が安心して使えるような形で工夫をさせていただいておりますので、引き続きご利用いただければと思っていますところでございます。

(辺見委員) 先ほどの朝の居場所の関係で、登録が10人というのは、11月頃の新聞で発表したの
で分かったんですけれども、それが、やはりこれのアンケートを見ると、一つ親として、登校時の
付添いが負担というのがあるじゃないですか。これはいつになっても問題になってくるんじゃない
ですか。1年生、2年生って、やはり1人で登校するというのは、私なんかが小学校の見守りを
やって、集団で登校させていると、1年生、2年生って高学年の子がいなくて駄目な状況なんです
よね。それをここでアンケートで言う付添いが大変というのは、保護者の方が、やはり保護者の方
が朝からお仕事のために早く出てしまうので、こういう事業を始めたんだと思うんですけれども、
それに関して、付添いが大変となると、そこもちょっとまた考えないと、これはいつになっても参
加人数は増えてこないのではないのかなと思っています。その辺はどうなんでしょうか。

(事務局) 朝の付添いの関係ですけれども、朝7時から使えるという中で、先ほどおっしゃって
いただいたとおり、特にこれは低学年の利用を想定しているので、低学年のお子さんが1人で歩いて
来るとするのは、ちょっと心配だなというところがあります。一方で、保護者の方は付添いが負担
だということで、そのバランスをどう保つかというところはあるんですけれども、確かに利用
が伸びないというところはあるんですが、今はお子さんの安全第一というところで付添いを願
いするような形にしています。今後、もう少し集団で、来年度から少し試行でやるのは、少なくと
も近所の保護者の方が、1人が複数のお子さんでも連れてこられるような形が、それが、その間柄
でできるような関係性であれば、そういうものはお願いしようと思っているんですけれども、一
気に付添いをなしという形にしまうと、多分利用は伸びるとは思うんですけれども、お子さんが
まっすぐ学校に来てくれればいいんですけれども、途中で事件、事故に巻き込まれてしまったり
すると心配というところもあるので、そのバランスを考えながら事業のやり方は考えていきたい
と思っています。

(辺見委員) ここで個人的な改善をするわけではないんですけれども、今言った近くの方の保護者
というのは責任は持てないですよ。保護者はそれはノーと言いますよ。その辺もお考えになって、ち
よっと前に進まないと。

(明石部会長) この問題は非常に大事な問題なので、すぐに正解は出ないと思いますから、今後、今、事務局が言われたように、いろんなアイデアを出してもらって解決していきましょうよ。相当時間がかかると思います。また、地域性もあるしね。だけれども非常に大事なことなので、とにかく横浜が提案しているので、いい解決方法をみんなで考えていきたいと思っております。

(宮永委員) 今のお子さんを1人で送り出すという部分に、ちょっと関連したことが1件。5ページのウに「朝一人でこどもが家を出発する際の支援メニューがある場合」と書かれているんですけども、これは今、お話の中にあったことも含めて、何か具体的な案みたいなものがあるんでしょうか。これは、こういうふうに書かれると、結構親は期待しちゃうと思うんですよね。もし具体的な案があるのであれば知りたいなと、ちょっと思いました。

(事務局) こちらにつきましては、支援メニューが新たなものがあるというよりは、朝の居場所の事業のことを一応イメージはしているんですけども、入学に当たって、何月頃までにこういった支援メニューという、今回の朝の居場所が1つ支援メニューなんですけれども、そういったものを知りたいですかというところの質問になってございますので、追加で何か新たなものがあるというわけではなくて、こういった一般的な事業がいつぐらいのタイミングまでに知れると、翌年の進学に向けて準備ができますかというところをイメージした質問となっています。すみません、分かりにくくて申し訳ございません。

(宮永委員) 来年度、4月からでしょうか。この朝の居場所づくりモデル事業の、新たに8か所で9区10校になるということで、これの取組を始める学校というのは、もうホームページか何かで調べれば出てきますか。

(事務局) 本市の朝の居場所の放課後児童育成課のホームページを見ていただければ、出るような形にはなってございます。該当の学校の保護者の方には既にお知らせはさせていただいてるところでございます。

(松本委員) 感想になるんですけども、私も数年ここに関わらせていただいて、最初の頃と比べたら、これは難しい、あれはできそうもないというところに対して、本当にこども青少年局の皆様が前向きに、こんなことまでできるようになったんだというのが本当に感想です。ありがたいと思っています。

1つ、さっきお弁当の量とか、残すという話がありましたけれども、これは3ページを見ても、これはもう理由をはっきり分かっていて、小学校でも給食が低学年、中学年、高学年でパンの大きさも違うんですよね。キビナゴのフライも低学年は3本で、高学年が4本というふうに分けているんですよね。だから、それを考えると、やっぱり6年生はちょっとかわいそうかなとか思います。

先ほど説明の中で量を選択できるとか、主食だけでもとか、そういうこともちょっとやっぱり工夫が。注文とか配膳が煩雑になったりするというのもありますけれども、難しくはない。何かできたらいいかなという。みんなに喜んでもらえる。残すことに対して、今、SDGsでも残さないよ

うにしましょうというのがありますので、残していいんだよとは言えない配食もあると思うんですね。ぜひ一緒にまた考えていけたらと思います。

小学校は低、中、高でパンの大きさとかおかずの数は違うんですが、6年間通して食べるということで給食費は一律なんですね。低学年は安いとかはないんです。参考までに。

(明石部会長) 私も松本委員がおっしゃるように、よくチャレンジしているな、だから課題が見えてくるのであって、非常にいいことだと思います。うれしいことに150億円を超える予算を使っているというのは、ほかから見れば横浜がうらやましい。だから人は集まるはずですけども、いろいろ課題がありますけれども、ぜひ前向きに検討していただけると助かります。

資料	資料1 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 委員名簿 資料2 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 事務局名簿 資料3 横浜市子ども・子育て会議条例 資料4 横浜市子ども・子育て会議運営要綱 資料5 横浜市放課後児童施策の質の向上に関する検討について 資料6 放課後キッズクラブ・放課後児童クラブでの長期休業期間中における昼食提供のモデル実施に係るアンケート調査結果について 資料7 小学生の朝の居場所づくりモデル事業に係るアンケート調査結果について 資料8 令和7年度予算概要
特記事項	—